

予防できるよ



東郷 潤

ある日、満員電車の中で、迷惑男さんの傘がサラリーマンさんの足に食い込みました。



サラリーマンさんは迷惑男さんに、優しく話しかけました。



迷惑男さんはすぐに傘をどかしましたが、気にする風ではありません。

別の日、満員電車の中で、また迷惑男さんの傘の先端が今度はおばさんの足に食い込みました。



おばさんは迷惑男さんに、優しく話しかけました。



迷惑男さんはすぐに傘をどかしましたが、気にする風ではありません。

別の日の朝、満員電車の中で、またまた
迷惑男さんの傘の先端が、今度は学生
さんの足に食い込みました。



学生さんは迷惑男さんに、優しく話しかけました。



迷惑男さんはすぐに傘をどかしましたが、気にする風ではありません。

別の日の朝、満員電車の中で、またまた
また迷惑男さんの傘の先端が女学生さ
んの足に食い込みました。



女学生さんは、怒って声を荒げました。

おじさん！
痛いでしょ！
気を付けてよ！

気が付かなくて
ごめんなさい。

満員電車の中で
傘を持ってる時
は、よっぽど気
を付けないといけませんね

迷惑男さんは傘の扱いを大いに反省し、
その後二度と他人の足に傘を食い込ませる
ことはありませんでした。

**痛かったら、怒って下さい。
次の痛みを防ぐために！**



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2019